

学校だより

四日市市立八郷小学校発
平成23年6月28日発行

《 6 号 》

【朝明中学校2年生の職場体験】

6月7日（火）から3日間、朝明中学校2年生4名が八郷小学校で「職場体験」を行いました。

これは、中学校での「キャリア教育」の一環として、実際の仕事の場での体験を通して自己の将来の職業や働くことの意義について学ぶことを目的としています。近隣の事業所、学校関係など、様々な体験場所の中で、本校を希望した4名の中学生を受け入れました。



3日間の体験が終わり、感謝の手紙が届きました。一部紹介します。



・ 先生の仕事は勉強だけであればいいかなと思っていました。だけど、勉強以外にも安全など細かなところまで見ていることに驚きました。

たくさん学んだ中で、一番大切にしなければいけないと思ったことは、「子どもの将来を預かっている」ということです。

・ 先生は私に温かく、優しく接してくれました。クラスの子もたちにも温かさ、優しさがあり、安心できるクラスでした。本当のコミュニケーションを学びました。

- ・ 先生は、自分の進みたい道をまず決めて、そこに向かって努力してきたと言いました。私の夢は先生になることなので、そこに向かって努力していきたいです。
- ・ 先生は授業中、子どもたちを「〇〇さん」と呼びます。一人の人間として接しているところがすごいと思いました。私は慣れなくてたいへんでした。

社会問題として、若い人たちのニート・中途退社の増大があります。まして、長引く不況により就職率もたいへん低い状態にあります。将来の自分をしっかりと見据え、今を大切に、目標に向かって努力することは、ますます大切になっています。

中学校だけでなく、小学校でも大切にしていける必要にあるキャリア教育です。小学校では、「働くことや仕事の素晴らしさ」を感じることが出来る体験活動を積極的に進めていきたいと思います。ご家庭でも、保護者の皆さんのお仕事を子どもたちに語っていただき、「家族を支える仕事」に気づかせていただければと思います。

【5年生の自然教室】

自然教室は、リアルタイムで、八郷小学校のホームページに掲載しましたので、ご覧になった方も多かったと思います。

そこで、今年度の自然教室は、「子どもたちの様子で感じたこと」を中心書いていきたいと思います。



1 積極的に動くことのできる子どもが多かった「ますつかみ」。

左の写真は「ますつかみ」の準備の様子です。準備だけでなく、片付けでも積極的に教師のお手伝いをしてくれました。特に、ますつかみやますを焼いて食べた後のいけすにしていた網の片付けにも、積極的に取り組みました。

裏面に続きます



2 盛り上りのあるキャンプファイヤー

天候が回復し、今年はキャンプファイヤーをすることができました。外であること、周りが暗くなることもあり、勝手な行動が多くなり、全体でのまとまりがなくなってくるのですが、それぞれの学級の出し物に全員が協力して、盛り上りのあるキャンプファイヤーができました。

また、「マイムマイム」のダンスでは、火のそばまで、出てきて火傷をしないか心配することが多いのですが、火の回りに置いた木の内側に入ることも少なく、安心して火の管理をすることができました。



3 自分たちで作った飯ごうすいさん

「自分たちで作った」という言葉は少し問題がありますが、例年の飯ごうすいさんでは、それこそ、1～10まで質問と次の指示を待つばかりです。

今年はC組の指導に当たりました。指導のポイントは3つ。

- ① 薪の燃やし方は、風の通り道を確認すること。
- ② ご飯は、飯ごうからの噴出しに注意すること。
- ③ カレーのルーの入れるタイミングは、ニンジン・ジャガイモが柔らかくなったとき。

途中、割り箸を使っての柔らかさの調べ方の見本を見せましたが、極力子どもたちの主体性に任せました。一人の判断では自信がないときは、班員が集まり相談し、完成の決定をしていました。自分たちの作った料理に満足できたことと思います。

4 ちょっと心配な後片付け

自然の家から借りたなべや飯ごうは、借りたときの状態にしてもどさなければなりません。残りかすや水気がかびの発生につながります。

自分たちはきれいにしたつもりでも、自然の家の職員からはなかなか合格ができません。5回、6回と運びますが、それでも合格ができません。そのうち、真剣にきれいにしようと奮闘する子が少なくなり、遊び子が増えてきます。全ての班が合格したのは、予定の時刻を30分以上過ぎてからです。

借りたときの状態に、次に使う人が気持ちよく使えるようにすることは、とても大切なことですが、子どもたちは食べ終わったとき緊張感が切れてしまったようでした。これからの課題として残ったように思います。学校でも最後まで緊張感を持って続けること、相手のことを考えた行動を指導していきたいと考えています。

《教育委員会主催「学校づくり協力者会議委員研修会」に参加して》

6月25日(土)四日市市勤労者・市民交流センターにて、市内約80幼・小・中の学校づくり協力者会議委員が集まり、研修会が持たれました。八郷地区からも福寿会会長・地区社協会長も参加していただきました。

市内全ての校園に「学校づくり協力者会議」が組織され、学校の評価、校長の学校経営についての助言などをいただいています。その中でも八郷小学校は、市内8つの小中学校とともに、「コミュニティスクール」として、拡大・深化した取り組みを6年前から進めています。

今回の研修会では、パネリストとして、大島委員に参加していただき、八郷小の先進的な取り組みや考え方などを話していただく中で、八郷小のコミュニティスクールのめざす方向性として「地域の教育力を学校教育に生かすとともに、八郷地区のまちづくり、地域住民の生きがいをいづくりに貢献する」は、他の地域にも大きな影響を与えるものと思います。

